

# 漁船海難ゼロへ！

漁船海難月報 平成27年1月号  
第七管区海上保安本部交通部安全課発行

## 平成26年12月七管内漁船海難 計10隻

(衝突5隻、乗揚3隻、浸水1隻、転覆1隻)



### ☆12月の主な海難

#### 【衝突海難の概要】

・漁船A丸は、魚群探査を実施し、見張りを行わず航行した結果、揚網作業実施中の漁船B丸に衝突したもの。

#### 【乗揚海難の概要】

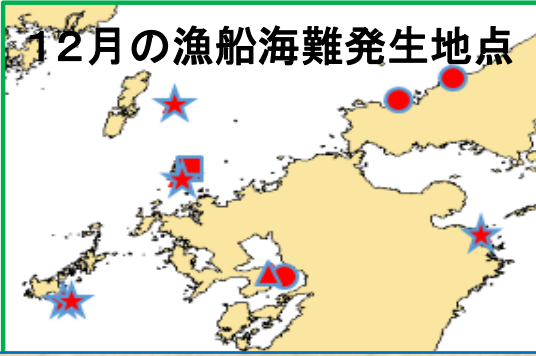
・漁船C丸は、自動操舵で帰港中、居眠りに陥り乗揚げたもの。船長は僚船に救助されたものの、該船は沈没した。

### 乗揚漁船の状況



漁船海難隻数 (速報値)	
衝突	5
乗揚	3
浸水	1
転覆	1
<b>合計10隻</b>	

県別(内訳)	
総数(H26. 1~11月)	今月
山口県(5)	2
福岡県(25)	2
佐賀県(3)	0
長崎県(49)	5
大分県(19)	1



## 2014年 漁船海難を振り返ってみよう！！

### 漁船海難の実態 (※2014年速報値)

衝突	58隻
乗揚	17隻
転覆	2隻
浸水	7隻
推進器障害	6隻
機関故障	3隻
火災	7隻
運航障害	8隻
安全障害	1隻
爆発	10隻
その他	1隻
<b>総計</b>	<b>120隻</b>

### 衝突海難要因

見張り不十分	37隻
操船不適切	13隻
居眠り運航	3隻
不可抗力	2隻
他船の過失	1隻
老朽衰耗	1隻
その他	1隻
<b>総計</b>	<b>58隻</b>

### 見張り不十分時の状況

作業・操業中	10隻
見ていない	10隻
避けてくれるだろう	4隻
他船注視中	3隻
船橋以外にいた	2隻
航海計器操作中	2隻
その他	6隻
<b>総計</b>	<b>37隻</b>

平成26年の漁船海難は衝突が58隻で最多！！なお、この衝突海難要因は「見張り不十分」が37隻で全体の6割強を占めていました。また、この見張り不十分の状況をみますと、「操業中」や漁獲物の仕分け、漁具の整理中等の「作業中」が多い状況でした。「操業中」や「作業中」であっても、必ず見張りを行いましょう！！その他、衝突相手船

を見落とした「見ていない(適切な見張りが出来ていない)」衝突も多く発生しております。皆様、「見張り不十分時の状況」を確認いただき、思いあたるところがあれば直しましょう！